

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和2年2月26日

三田市議会議長

様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	印
		議員名	
派遣者氏名			
視察先及び 調査事項 (調査目的)	第3回地方創生 EXPO ～地域PR、観光、インバウンド支援、産業支援、IT、スマートシティ～		
日 時	令和2年2月6日（木曜日）		
視察先対応者	別紙参照		
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>地方創生ということで、かつてはシステム系が中心だったが、今回は各ブース内で、要素技術が、関連会社に分かれて配置されているところが多かった。大きなメーカーの全体の考えの中に、各要素が別々に説明され、名刺も多くの特名となった。</p> <p>地域PR、観光、インバウンド支援、産業支援、IT、スマートシティ等各アイテムがあったが、今回特に映像や印刷、SNSを用いた支援ツールの紹介が多く、特に認証やビッグデータ処理など、AIの簡易版的な要素技術を多く見ることができた。</p> <p>私が注目したものを何点か列挙する。</p> <p>①-1：NTTタウンページでは、いつ、どんな人が、どこからどこに電話を掛けているのか、ビッグデータで表示することにより、市町を来訪する国内・訪日の観光客の動向を把握し、観光実態や宿泊状況を分析し、有効な施設の検討と評価を実施し、PDCAに展開できる。また、災害前後の人の流れや帰宅困難者対策に活用できる。</p> <p>①-2：NTTスマートコネクトでは、eスポーツに適したマルチアングルの映像配信を行なうことで、視聴者の好みで映像選択できる。また、複数の映像を一つの映像に合成することで、切り替えやバッファリングを低減し、スムーズで扱いやすい。広告収入や無料配信など使い分けることができる。</p> <p>②富士通では、米国アンダーアーマー社の日本総合代理店：㈱ドームとの協業により、スポーツのデジタルビジネスを推進する。福島県いわきFCでスポーツ向けDMP（Data Management Platform）を活用したサービスや、主要観光施設を核として、来訪者の市内周遊消費拡大を図る。</p>			

③サンライズ社では、映画の隙間コマーシャル（シネアド：映画を見る対象が、ファミリー層や若者やカップルなど限定されることに眼をつけ、映画の間にコマーシャルビデオを流すもの）で、誰を誘致するのか、どこで見せるのか、戦術がしっかりとしたところで、展開できる点が参考になった

④KDDIでは、LTEがつながる場所ならどこでも仕事ができる環境を提供することで、テレワークによる業務効率化・在宅ワーク・BCP対策などを実現する。

⑤ゼンリンでは、地図の拡大印刷（A0サイズ：1,189×841mmに収録範囲1,740m×1,230m）により避難計画や災害時被害把握などに対応する。さらに、マグネットシート・地図パネル・キャストアップパネルに印刷できるので、案内図や防災マップ・図上訓練・災害対策本部などに活用できる。

⑥mirmirでは、写真イメージを大きなスクリーンで、自分の表情や合成などを確認しながら、納得できる写真が撮れる。撮った写真は、プリンターで即印刷でき、また、データとしてサムネイル表示できるので、参加者の盛り上げに役に立つ。

⑦㈱サイドランチでは、マンガで判り易く伝える支援をしている。（例：三郷市では18歳選挙権の説明に使用して）

⑧阪急交通社では、旅行を通じた地域連携で、地域活性を支援している。農業体験ツアーやインバウンド誘致、移住定住×就農支援など東北の例が多数出されていた。

⑨TOA㈱ではメール通知機能付き防犯カメラ（タウンレコーダー）。遠隔地からインターネット経由で機器の動作状況が確認できる通信機能付き（4G LTE対応）。

#### <所見>

会場が広く、出展社もとても多く、到底半日では廻りきれなかった。大手の企業のブースでも、説明は各アイテムの関連会社が多く、昔のように体系的なシステム紹介が少なかった。

AIやIoTなど、要素技術はかなり実用性の段階にきていると感じた。まだコストが掛かりそうで、これからのデファクトスタンダード化に期待する。

今まで視察において先進事例を見てきたが、今回のような展示会で先進事例を聞いたことは、大きな成果だった。例えば、誰に・いつ・どのように見せるのか、ピンポイントでターゲットに誘致活動をする方法が、コストを含めて課題だと思っていたが、サンライズのシネアドのように、特定映画の上映時間の間にコマーシャルを放映するという視点は、これからの事業提案の参考となった。事業目的の明確化の大切さを感じた。

以上